

第 18 号では、エースパック未来中心で行われた
SSH 課題研究報告会についてお伝えします。

「湯梨浜学園 SSH 課題研究報告会を開催しました」

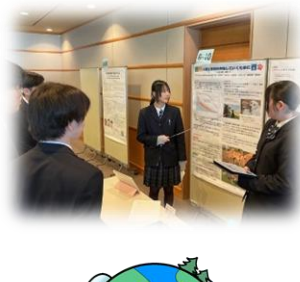
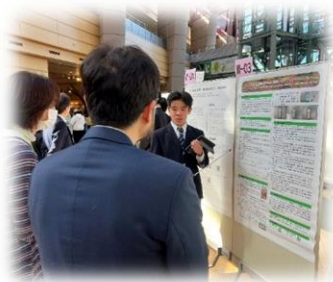
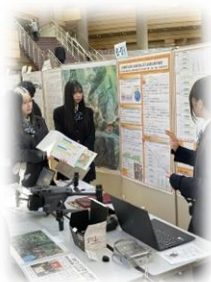
中学 1 年生から高校 2 年生までの課題研究 56 グループは、4 月より「環境保全と地域活性」を主研究テーマとして、それぞれが思い描く未来を想定して、探究に取り組んできました。2 月 21 日（土）、エースパック未来中心にて、「湯梨浜学園 SSH 課題研究報告会」を開催し、その研究成果を多くの方々に報告しました。

午前の部では、ポスター発表を行いました。参観者を前にしてしっかり受け答えをしながら発表していました。生徒たちは、質問の受け答えを通して、自身の研究の良かった点、足りなかった点を客観的に把握できたことと思います。

午後の部では、優秀な研究を行った生徒の表彰およびプレゼン発表でした。自信を持って、より細かいデータ等を用いて観衆にわかりやすく伝える姿が印象的でした。

参観された方からは、「研究内容が幅広く興味深かった」、「これからもっと大きな発表会での活躍が期待できる」などの感想が聞かれました。この度の経験を受けて、生徒たちは、研究の改善や発展に努めてくれることと思います。

本事業にご協力・ご支援して下さった大学・企業・団体様、本当にありがとうございました。



最優秀賞

環境・生物テーマ
「ICT 機器を活用した鹿の里山進入忌避効果の考察」

優秀賞

環境・地域テーマ
「真砂砂鉄とたたら製法で刀匠『伯耆安綱』の再興を目指す」
環境・自然テーマ
「間伐材を活用し農薬に頼らない防虫効果を」
環境・独自テーマ
「吃音症は『舌や口の筋肉、舌の位置などがまだ未発達である』ことなのでは？」
環境・地域テーマ
「既存の観光資源でより多くの外国人観光客の集客は可能か」